

## 1人1台端末の利活用に係る計画

## 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

本村では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実を推進するツールとして、「ICTの効果的な活用」を目指し、GIGAスクール構想により整備されたICT環境のもと、研修や授業研究等を行い、1人1台端末の効果的な利活用を図ってきた。

今後は、これまで取り組んできた特色ある学校による教育を引き続き推進するとともに、以下のような児童生徒の学びの姿を目指していきたい。

まず、「個別最適な学び」の実現において、児童生徒は、1人1台端末を通じて、個々の理解度や学習ペースに合わせた、1人1人の児童生徒の実態に応じた学習計画に基づいて学びを進めるものとする。また、「協働的な学び」の実現において、自校はもとより、他校の児童生徒とオンラインでつながることで、多くの他者の考えに触れ、自己の考えを広げ深めることができるようにする。また、グループワーク等を通じて、現実社会で必要とされる非認知的スキル等を身に付けさせたい。

## 2. GIGA第1期の総括

令和3年度に220台（校務用端末含む）を整備している。予備機を追加で令和4年度～5年度14台（校務用端末含む）整備し、また、令和2年度に全小中学校の通信ネットワークを整備している。大容量通信ネットワークを含めたICT環境の整備は完了している。また、令和5年度以降毎年度アセスメント調査を実施し、対策が必要とされる課題などを保守業務を委託している業者と協議し、速やかに対処している。学習支援ソフトの効果的な利活用や遠隔合同授業に係る教員の研修の充実を図り、教員のICT活用指導力の向上に努めてきた。

課題としては、学習支援ソフトの機能は日進月歩であり、教員が日頃の授業や校務において、より効果的にICTの活用が図ることができるよう、研修の機会等を確保する必要がある。また、児童生徒の発達段階や障がい種に応じた効果的な活用の在り方についても研究を深め、本村が抱える課題解決につなげていきたい。

## 3. 1人1台端末の利活用方策

本村では次の3つの視点で利活用を推進していく。

## (1) 1人1台端末の効果的な利活用

授業や家庭学習、学校・家庭間の連絡等、様々な場面において1人1台端末の効果的な利活用を推進する。

## (2) 個別最適・協働的な学びの充実

個々の理解度や学習ペースに合わせ、児童生徒の実態に応じた学習計画に基づいて学びを進めるものとする。また、自校はもとより、他校の児童生徒とオンラインでつながることで、多くの他者の考えに触れ、自己の考えを広げ深めることができるようにする。

## (3) 学びの保証

不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒に対して、実態に応じた支援を実施し、1人1人の学びを保証する。